

03-5 外来作業療法および精神科デイケアに通所する 統合失調症患者に対する急性期統合失調症患者向け 健康状態自己評価尺度の使用可能性と有用性について

○大島 久典(OT)¹⁾, 平良 勝(MD)¹⁾, 干飯 純子(OT)¹⁾, 橋本 健志(MD)²⁾

1) 兵庫県立ひょうごこころの医療センター

2) 神戸大学大学院 保健学研究科

Key word : 統合失調症, 自己評価, 健康管理

【はじめに】我々は急性期統合失調症患者用の健康状態自己評価尺度(The Brief Self-Rated Scale of Health Condition with Acute Schizophrenia; 以下, BsHAS)を開発し, その信頼性と妥当性を報告した. 急性期患者には作業療法(以下, OT)を受療し, 退院後に外来OTや精神科デイケア(以下, DC)に移行する者が含まれる. 本研究の目的は外来OTおよび精神科DCに移行する統合失調症患者に対するBsHASの使用可能性とその有用性について検討することである.

【方法】BsHASは体調, 気分, 人疲れ, 楽しみ項目からなる5段階尺度(範囲0-4点, 健康ほど高得点)である. 2010年6月から8月までの期間に当院外来OTまたは精神科DCを利用し, 本研究への参加に同意をした65人(外来OT参加患者17人, 精神科DC参加患者48人)を対象にBsHASを使用し, 回答不能者数を調べた. さらに, 統合失調症患者に使用可能であることが報告されているEQ5D-健康VASを同時に実施し, 健康VAS得点とBsHAS得点との相関を調べた. BsHAS評価が, OT課題選択・OT効果と状態推移を把握するために有用であったと思われる事例を示した. 本研究はひょうごこころの医療センター倫理委員会の承認(承認番号22-2)を受け, 本人から書面で同意を得た.

【結果】BsHASと健康VASへの回答不能者はいなかった. 平均BsHAS総得点 9.6 ± 3.5 点, 平均体調項目得点 2.3 ± 1.1 点, 平均気分項目得点 2.5 ± 1.0 点, 平均人疲れ項目得点 2.1 ± 1.2 点, 平均楽しみ項目得点 2.8 ± 1.1 点, 平均VAS得点 59.9 ± 19.3 点であった. VAS得点はBsHAS総得点($r = .58, p < .001$), 体調項目得点($r = .49, p < .001$), 気分項目得点($r = .46, p < .001$), 人疲れ項目得点($r = .51, p < .001$), 楽しみ項目得点($r = .39, p < .01$)と中等度の有意な相関がみられた.

【事例】統合失調症, 60代女性. 不眠が出現し, 幻覚

妄想状態で救急外来受診の後, 医療保護入院となった. 入院6日目より生活リズムの改善を目的に個別OTが開始となり, 病的体験が活発な状態であったがBsHASは実施可能であった. BsHAS体調「良い」4点, 気分「良い」4点, 人疲れ「あまり疲れない」3点, 楽しみ「少しある」3点と回答し, 本人は状態をほぼ健康であると評価した. 状態の改善に伴い, 40日目より心理教育プログラムを, 49日目より並列型個別OTを開始した. 56日目にはBsHAS体調「少し悪い」1点, 気分「少し良い」3点, 人疲れ「あまり疲れない」3点, 楽しみ「ある」4点と答え, 体調不良を医療者に伝えることができ, 退院直前の64日目には人疲れ「少し疲れる」1点, 楽しみ「あまりない」1点と答え, 退院後の対人関係を心配し, 楽しみがあまりないことを杞憂した. 退院後は外来OTに移行し, 革細工や陶芸などの作業時に人疲れ感について傾聴し, 対処方法を一緒に考えた. 退院から104日後, BsHAS体調「ぼちぼち」2点, 気分3点, 人疲れ1点, 楽しみ3点であった.

【考察】EQ5D-健康VASは目盛0-100の連続尺度であり, 急性期患者にとって評価しやすそうだが, 100の選択肢から1つの目盛を選ぶためか, 回答不能となる場合があった. また, 1項目尺度のため情報が少ない. 一方, BsHASは中間の選択肢を含み, かつ選択肢が少ない自己評価尺度であり, 急性期から継続して使用可能であった. 経時的使用によって, 患者は入院時から地域生活定着までの健康状態に意識を向けやすく, 体調, 気分, 人疲れ, 楽しみの4項目の推移は医療者にとって治療とリハビリテーションのための補助情報となり, 健康状態へ配慮すべき点について焦点化し, 患者と共有できた. 以上の結果及び事例の経過から, 外来OTおよび精神科DCに移行する統合失調症患者に対してBsHASは使用可能かつ臨床上有用であると考えられた.